

【第28回JFクラス全日本選手権大会優勝者コメント】

去る6月11・12日に行われたJFクラス全日本大会で幸運にも優勝できました。この数年間入賞経験はありますが、優勝は10年ほどなかったと思います。「長く続けていてよかった」というのが正直な気持ちです。

かねがね私は大きなレースで勝つには3大要素があると考えています。

すなわち ①艇 ②技術 ③運 です。

①今回私が使用した艇は2002年に米国からハルのみを輸入・製作した36級のORCO・MILLENNIUM, カーボン艇、これを私なりにポイントを決めてスイングリグとしたもので、10年以上経過した現在でも充分活躍しています。殊に私の考案したスイングシステムは20艇以上ある兄弟艇とリグの互換性があり、何よりも持ち上げることが可能というメリットは、密かに世界唯一と自負しています。

この36艇にJF用Aリグをセットしたオールド艇が微風にとにかくよく反応してくれました。②の技術はすでになんかなりサビ付いていますので、今回はすべて①艇と③運のおかげだと思います。2位の宗助さんとは総計が同じなのにカットした点が多かった分、好成績を収めるという幸運に恵まれました。

嵐田さんの3位は20年近く前に作製した自作艇にコンベンショナルリグをセットし、巧みに操った結果でした。

4位の長谷川さんは36・VENOMにJFのAリグより少しエリアの小さな36用Aリグで参加、2度もトップをとるといふ活躍ぶり。フルサイズJFハルで参加された池田・池島のW池コンビは終始微風に悩まされ長い水線長を生かせず気の毒な面がありました。浜口・池尻の両ベテランは、打つ手が今回すべて裏目に出てしまい運に見放された感がありました。

JFクラスの存続にはいろいろ論議がありますが、フルサイズのJF艇の走行を楽しめ、36艇の使用機会が増加するメリットを納得・享受できると割り切っています。36艇でJFレースに出てみようとお気持ちになられたらご一報ください。F用リグを贈呈させていただきます。

来年の大会が15艇を超える参加艇で盛大に開催されるのを祈念して、優勝コメントを終わらせていただきます。

ご参加いただいた選手・運営のお骨折り頂いた皆さんに心から感謝申し上げます。